



地域と結ぶ情報誌

ちゅうごくしこく

第8号

編集・発行

中国四国防衛局 総務部

〒730-0012

広島市中区上八丁堀6-30

電話 082 - 223-7109

北澤防衛大臣岩国基地等視察



2月20日、北澤防衛大臣が岩国基地を訪れ、基地などを視察し、その後、榛葉防衛副大臣とともに福田岩国市長らと会談したほか「米軍再編と岩国」を考えるフォーラムに出席、市民との対話に応じました。

北澤防衛大臣は20日午前中に厚木基地を視察した後、救難飛行艇US-2に搭乗、同日午後2時すぎに岩国基地に到着しました。

海上自衛隊第31航空群儀仗隊による栄誉礼を受け、基地の概況説明を受けるなどした後、北澤防衛大臣はMCH-101掃海・輸送ヘリに乗り換え、愛宕山住宅開発用地を含む岩国市全体を上空から視察しました。

続いて、新航空管制塔から滑走路移設事業の現場を確認するとともに、工事概況説明等を受けた後、米海兵隊岩国航空基地のマイケル A. オハローラン司令官らを表敬訪問しました。

その後、岩国市庁舎を訪れた北澤防衛大臣は、榛葉防衛副大臣とともに、福田岩国市長、桑原岩国市議会議長らを表敬し、約30分間会談しました。休む間もなく岩国市のシンフォニア岩国で、「米軍再編と岩国を考える会」主催によるフォーラムに出席、およそ900人の市民に対して艦載機移駐などに関する経緯を伝えるとともに、意見交換を行いました。

大臣は閉会后、報道陣に対し「市民の意見を直接聞けて、いい集会だった。今日聞いた意見をしっかり胸に抱いて防衛省に帰る」と感想を述べました。

ハイチにおける国際緊急医療援助隊の活躍！



【ポルトープランス及びレオガン市街の被災状況】

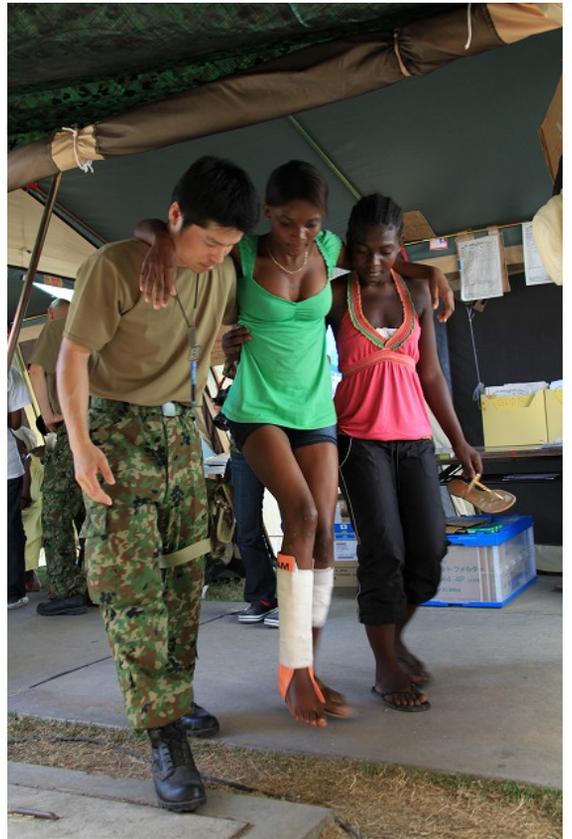
防衛省は平成22年1月13日に発生した大地震により大規模な被害が発生したハイチ共和国で医療活動を任務とする国際緊急医療援助隊を派遣しました。

援助隊は陸上自衛隊第13旅団（広島県安芸郡海田町）らの隊員を中心に 医官、薬剤官、看護官ら約40名、後方支援にあたる約60名の計約100名で編成され、ハイチ共和国において平成22年1月23日から医療活動を行いました。



【診療等の模様】





【診療等の模様】



援助隊は1月23日より約3週間医療援助活動を実施してきましたが、現地医療機関が診療を再開していることなどを踏まえ、現地時間2月13日の活動をもって医療活動を終結することとしました。

援助隊は13日に撤収命令を受け同18日に帰国、午前8時30分政府専用機で広島空港に到着し、その後海田市駐屯地において、13旅団長（平野将補）に対して、帰国報告を実施しました。

平野旅団長は、派遣隊員に対し「2月13日撤収命令をもらうまで22日間、休み無く連続で医療支援を実施して、2954名を治療し、まことにご苦労であった。」と労をねぎらいました。

なお、自衛隊が活動しているレオガン市エписコパル看護学校においては、日本赤十字社が現地時間14日より自衛隊の活動終了に引き続き医療活動を実施しています。

第3回岩国基地に関する協議会開催



2月10日、岩国基地に関する協議会が、岩国市役所において開催されました。昨年7月の第2回会合に引き続き、今回が第3回の会合です。

中村局長、福田岩国市長、藤部山口県総務部理事らが出席し、街頭緊急通報システム（通称：スーパー防犯灯）の設置などこれまでの協議会確認事項の取り組み事項について報告するとともに、日米親善交流事業、工事関係車両による渋滞緩和対策などについての協議が行われました。

終了後の記者会見で中村局長、福田市長、藤部理事が協議概要について説明し、今後とも引き続き、市民の安心・安全の確保に傾注し、多くの市民に納得のいくような結果を出すべく努力する旨話をして締めくくりました。

平成21年度日米共同訓練



【訓練の様相】



【日米交流での1コマ】

陸上自衛隊第10師団（師団長 河村陸将）は、2月21日から3月7日までの間、日本原演習場において「平成21年度日米共同訓練(米海兵隊との実動訓練)」を実施しました。第10師団からは、第14普通科連隊の1コ中隊基幹約300名が、米海兵隊からは、第3海兵師団戦闘攻撃大隊の1コ中隊基幹約120名の計約420名が共同訓練に参加しました。本訓練は、陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図ることを目的に行われています。

当局においても地元自治体との調整や情報収集、不測事態の初動対応等に当たるため、訓練期間中現地連絡所を開設するとともに、米軍に対し軍車両の交通法規遵守、故障発生時の適切な対応について要請を行いました。

当該訓練については、関係自治体等地域の皆様のご理解等をいただき、特に問題もなく、大きな成果を上げることが出来ました。

日米親善交流事業in岩国



2月27日、米海兵隊岩国航空基地において日米親善交流事業が実施され、日米の児童、保護者ら計約250人が参加し、一緒にゲームなどを楽しみました。

当日は、中村局長、福田岩国市長、オハローラン司令官らの挨拶による開会式に始まり、参加者全員による凧作り・凧揚げ、日米のお母さん達が協力して地元特産の岩国レンコン入りドーナツやミートローフ作りなどの料理教室が行われました。

また、子どもたちは、米側のボランティアの指導によるキックボール・バスケットボールなどの様々なスポーツに参加し、綱引きなどのゲームを楽しみました。

参加者した子供達からは、「大変楽しかった。また、参加したい。」との感想が寄せられました。

来年度以降における交流事業の開催については、今回の交流モデル事業の結果等を踏まえ検討していきます。

防衛問題セミナーを開催



【新高知駐屯地 施設配置(全景) 完成予想図】

3月2日、のいちふれあいセンター(高知県香南市)において、「新たな高知駐屯地の開設」をテーマに防衛問題セミナーを開催しました。

セミナーは中村局長の開催挨拶に続き、「新高知駐屯地の建設工事」について中村局長より、また、「第50普通科連隊の役割、装備、訓練概要」について黒田第50普通科連隊長により参加者115名を前に講演が行われました。

講演の中で陸上自衛隊第50普通科連隊は、組織の改編に伴い香川県善通寺市から移駐して来る700人で、高知県等の防衛警備と災害派遣の主力部隊となることや、新しい駐屯地には、東京ドーム4個分の16ヘクタールの用地に庁舎と車両整備工場、それに隊員用の宿舎などが整備されることが説明されました。

香南市には、隊員と家族で1000人以上が移住する予定で、新しい駐屯地は3月26日から運用が始まることになっています。

「防衛」について身近に考えてみませんか。

中国四国防衛局では、わが国の安全保障や国の防衛に関する問題について、広く国民の皆様にご理解を頂くため、防衛省の政策や自衛隊の活動の現状などについての情報を積極的に提供することとし、今後も引き続き、防衛問題セミナー等を開催します。これを機会に「防衛」について身近に考えてみませんか。

防衛省の政策や自衛隊の活動等に関する講演等について、当局管内の自治体や学校等で御要望があれば防衛省・自衛隊から講師を派遣します。

なお、講師の派遣に伴う経費等の必要は一切ありません。

【お問い合わせ先】

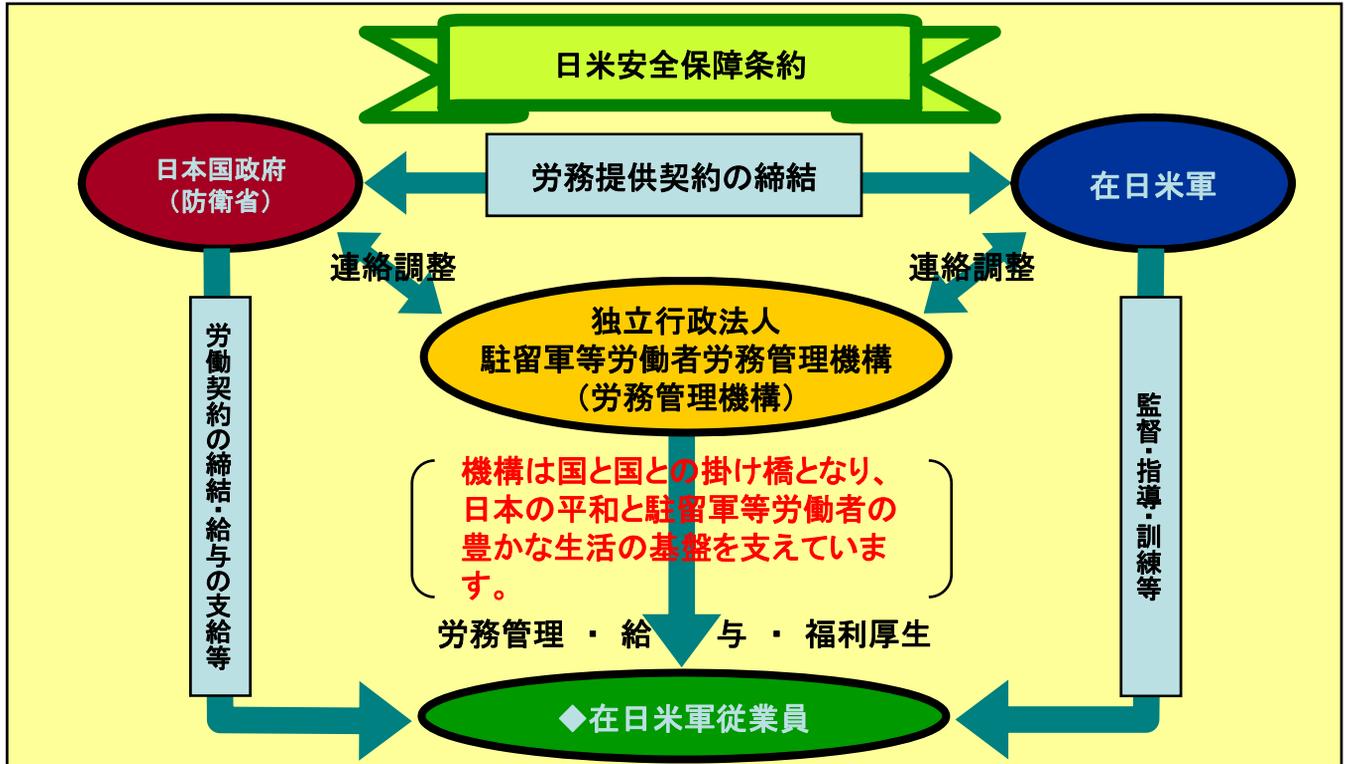
中国四国防衛局 企画部 地方調整課 (TEL082-223-7153) です。

在日米軍基地で働きませんか！

職種は多種多様
(事務職・技術職、警備、その他)

◆ 在日米軍従業員とは

在日米軍従業員の雇用形態は、日本国政府(防衛大臣)に雇用されますが、使用者は在日米軍となる「間接雇用」です。日本国政府に雇用されることから国家公務員と混同されがちですが、国家公務員ではありません。



在日米軍従業員の主な待遇

◆ 給与

基本給

勤務する職種ごとに基本給表・等級が決められています。

諸手当

扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当、時間外勤務手当、夏季手当、年末手当、退職手当などがあります。

◆ 勤務時間

勤務時間は月曜日から金曜日までの1日8時間

※警備員、消防員、ウェイター・ウェイトレス等の場合、変則的な勤務時間になることがあります。

◆ 休暇

年次休暇、夏季休暇、傷病休暇、結婚休暇、妊娠休暇、配偶者出産休暇、育児休業、介護休業、忌引休暇などがあります。

◆ 休日

土曜日及び日曜日の休日、米国の祝日、年末年始の祝日

※職種により土曜日及び日曜日以外の日を休日に指定されることがあります。

◆ 福利厚生

健康保険、介護保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険などの各種社会保険をはじめ、定期健康診断、成人病予防健康診断、災害見舞金、心の健康相談等さまざまな福利厚生制度があります。

応募から採用まで

応募

選考・面接

選考結果
通知

雇用前
健康診断

採用



お問い合わせ先

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構
・岩国支部
岩国市中津町2-15-35
TEL. 0827-21-1271



呉分室
呉市中央1-6-9センタービル呉駅前4F
TEL. 0823-32-7087

ホームページへのアクセスを！

お近くのハローワークからも応募できます。

H P: <http://www.lmo.go.jp/>

携帯: http://oubo.lmo.go.jp/bosyu_list_m/

経験や実績を持たれた、即戦力となられる貴方のご応募を待っています！！

平成22年度 防衛省職員採用試験

●試験の概要

種類	試験区分	受験資格	受付期間	第1次試験日	第2次試験日	最終合格発表日
I種試験	数化電機造航 学学子械船空	1. 昭和52年4月2日～平成元年4月1日生まれの者 2. 平成元年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの (1)大学を卒業した者及び平成23年3月までに大学を卒業する見込みの者 (2)防衛省が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者	4 ・ 1 (木) }	5 ・ 9 (日)	6 月 中 旬	7 ・ 2 (金)
II種試験	行政学(英語) 国際関係(英語) 国際関係(中国語) 国際関係(朝鮮語) 数電機土建 学学子械木築	1. 昭和56年4月2日～平成元年4月1日生まれの者 2. 平成元年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの (1)大学、短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成23年3月までに大学、短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者 (2)防衛省が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者	4 ・ 12 (月)	6 ・ 13 (日)	7 月 下 旬	8 ・ 20 (金)
III種試験	一般事務 電機土建 学学子械木築	平成元年4月2日～平成5年4月1日生まれの者	7. 1 (木) } 7. 20 (火)	9 ・ 26 (日)	10 月 下 旬	11 ・ 19 (金)

採用試験の詳しい情報はホームページをご覧ください

■防衛省ホームページ

(URL) <http://www.mod.go.jp/>

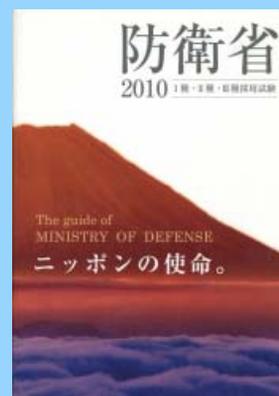
■中国四国防衛局ホームページ

(URL) <http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

受験案内・パンフレットの請求

またお問い合わせ等は下記までお願いします

▼2010年度版パンフレット



中国四国防衛局 総務部総務課人事係

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30

広島合同庁舎4号館7階 TEL:082-223-7105